

うすい頁岩層を水平方向にはさんでいます。

Ⓑ層は1 mの厚さで灰青色をした細粒質砂層です。

Ⓒ層は50 cmの厚さの頁岩層です。

Ⓓ層は最上部に見られる頁岩層です。

2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

四時川の四時橋付近の川原

(2) 土手から川原や、水の流れを観察する。

① 土手の上から川原や、水の流れなど川の全景をスケッチする。

② 水の流れが大きく曲がっている所で川原は、内側に広くできているか、外側にできているか。

③ 川原がけずられているのは、内側か外側か。

(3) 川原において、流水のはたらきを調べる。

① 橋の近くで、川原側と向う岸側にそれぞれ20 mの長さを取り、水の流れの速さを調べる。

② 川原から向う岸に進むにつれて、深さはどう変わっているか。

③ 水中のぞき箱で川底をのぞいて、砂などが流れている様子を観察する。

(4) 川原のレキを調べる。

① 川原のレキや、砂のつもり方が平均しているような所を選んで1 mの方形枠で囲み、その中の長径

